11 月の月間改革賞【テーマ:オール静岡～横のつながりで課題解決・リスク回避～】

焼津市が進めるまちづくりと連携した防潮堤整備

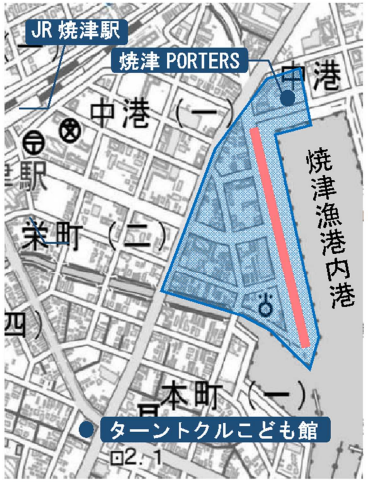
（焼津漁港管理事務所　整備課　整備班）

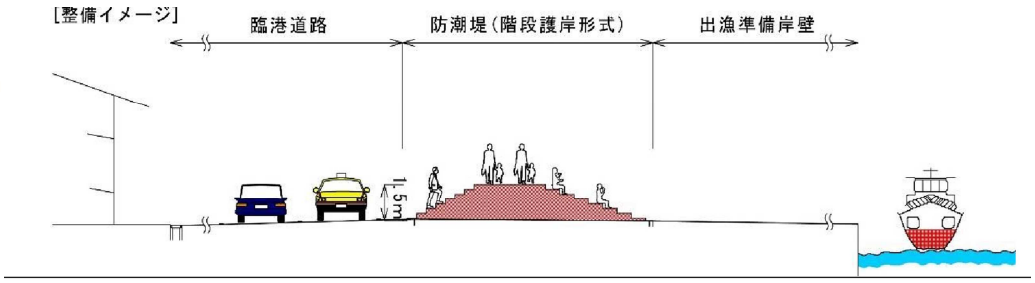
改善前

当初、焼津漁港内港地区（第一船渠西岸壁周辺）の津波防護施設については、通常の胸壁の整備を計画していた。

改善後

- 焼津市と連携し、漁港では県内初となる漁業活動や景観等にも配慮した緩傾斜堤の防潮堤を整備することとしました（令和8年度着手予定）。
- 新しい防潮堤は、**港町特有の景色が望めるプロムナード（遊歩道）やフォトスポット、イベント時の観覧席等として活用されることが期待され、防災機能と観光資源の両面から貢献**することになります。





静岡大学　教授　牛塲　智　様

近年、漁港やその周辺の整備については、まちづくりの観点、とりわけ観光需要への対応が求められています。したがって多様なアクターとの分野横断的なマネジメントが鍵になります。本事例は、「検討会議」を軸にこうしたことがなされた、正にコミュニティ・ガバナンスの好事例と言えます。

11 月の月間改革賞【テーマ:オール静岡～横のつながりで課題解決・リスク回避～】

病院の立入監査における放射線部門の調査票の作成及び全県統一

（中部健康福祉センター　地域医療課　地域医療班、東部健康福祉センター　地域医療課　医療班）

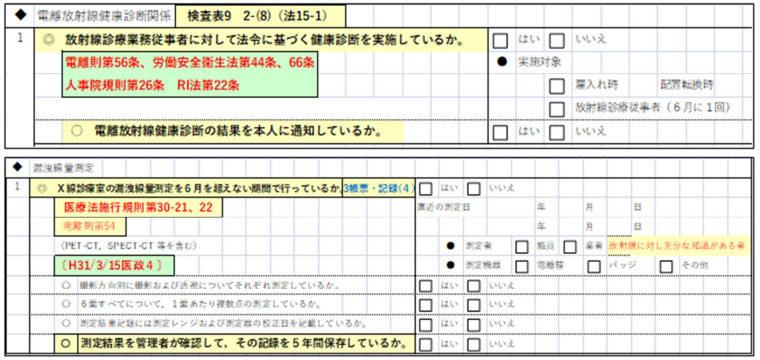
改善前

保健所が行う病院の放射線部門への立入検査では、保健所（県、静岡市、浜松市）ごとに調査票が作成されており、調査事項が異なっていた。

改善後

- 政令市（静岡市、浜松市）と連携し、放射線部門の検査状況及び課題等を抽出した。その結果を基に、中部及び東部保健所の職員が、調査票（チェックリスト）の内容・項目を検討し、判定の標準化を図るために判定欄を設けた。さらに、根拠法令、関連資料等を追記し、政令市と共有した。このことにより、判定に要する時間が短縮され、検査票の作成を容易にした。
- 県内の全保健所にて、同一の判定内容にて検査することができ、全病院で統一した検査が可能となった。病院側においても、同一法人で圏域が異なる複数の病院間でも情報共有が円滑になった。

放射線施設自主管理チェックリスト
指摘・指導・確認事項判定打合せ表　追記
立入職員用
チェックリスト　装置一覧：放射線施設・機器関係
1　放射線診療従事者・健康診断
2　放射線被ばくに関わる管理
3-1　診療用放射線・MRI検査に関わる管理
3-2　輸血用血液照射装置の管理
3-3　画像・標識等の管理


◆ 電離放射線健康診断関係　検査表9　2-(8)（法15-1）
1 ◎ 放射線診療業務従事者に対して法令に基づく健康診断を実施しているか。　はい　いいえ
電離則第56条、労働安全衛生法第44条、66条
人事院規則第26条　RI法第22条
● 実施対象
雇入れ時　配置転換時
放射線診療従事者（6月に1回）
○ 電離放射線健康診断の結果を本人に通知しているか。　はい　いいえ

◆ 濃淡線量測定
1 ◎ X線診療室の濃淡線量測定を6月を超えない期間で行っているか。
医療法施行規則第30-21、22
療養則第54
（PET-CT、SPECT-CT 等を含む）
（H31/3/15医政4）
○ 撮影方向別に撮影および透視についてそれぞれ測定しているか。
○ 6管すべてについて、1管あたり複数点の測定しているか。
○ 測定結果記録には測定レンジおよび測定器の校正日を記載しているか。
○ 測定結果を管理者が確認して、その記録を5年間保存しているか。

QC サークル静岡地区　地区世話人　難波　浩三　様

先ずは改善活動ご苦労様です。不揃いの調査票の統一化へ着眼し中部、東部と横ぐしで問題を共有しこの事例の良い点は問題点に対し議論をし合った点でその事で県内の標準化が図れ病院間でも情報共有が円滑になり更にブラッシュアップを図り取り組もうとするところは勉強となる良い事例だと思います。